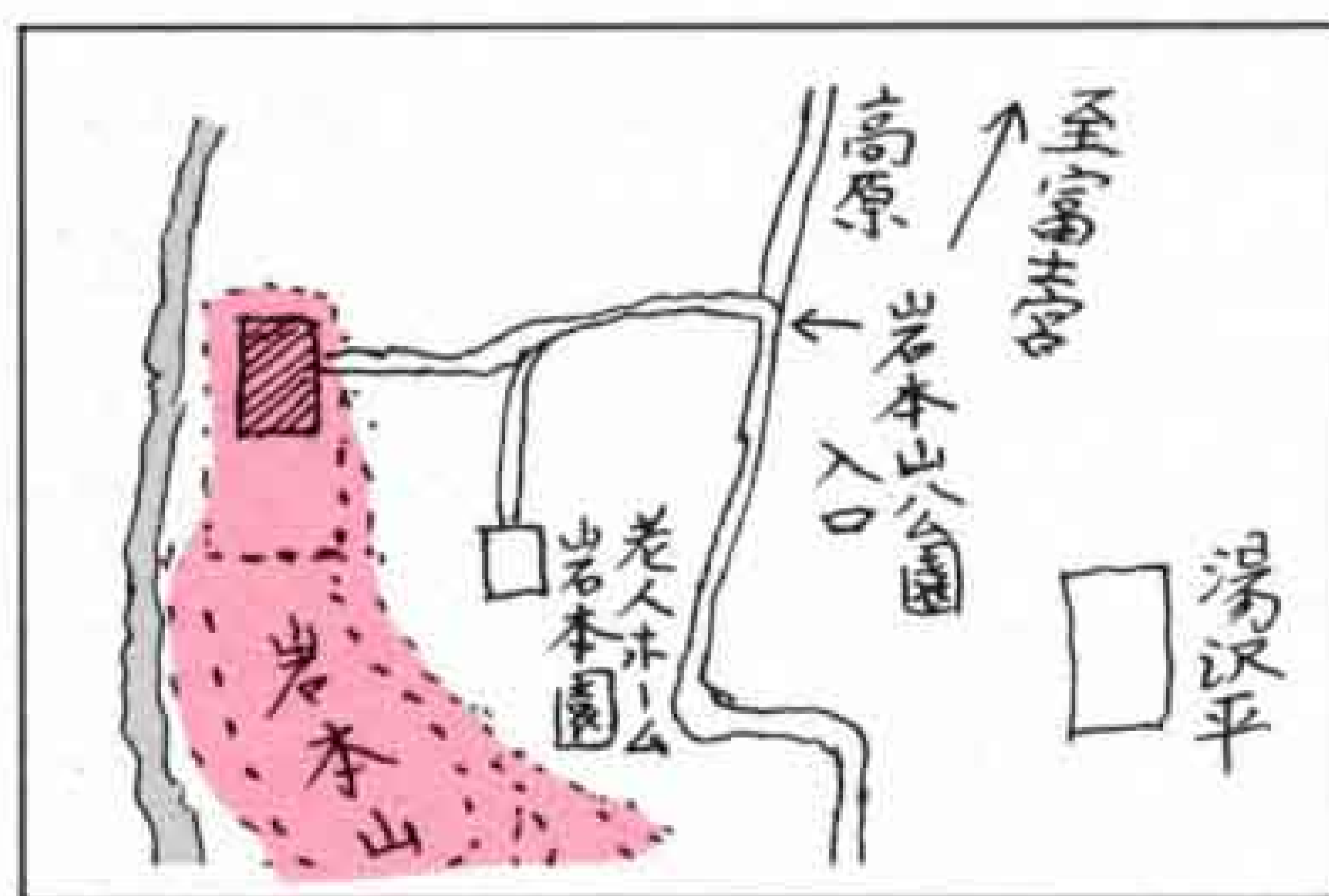




私の好きな風景 9

スケッチ画と文
 富士市美術協会
 佐野 稔さん
 富士市松岡三四八一四

岩本山公園



ここからは左に富士山、右に愛鷹山の景観が広がり、四季折々の自然との語らいを満喫できる。ゆるい坂道を奥へ歩めば、朴などの落ち葉が足元に音をたてる。

春の梅・桜、夏の紫陽花・バラ、秋の紅葉、冬の椿・山茶花など、季節に応じた草木のありよう、中でも梅林の眺めは見事である。

公園内には、原田濱人（みづうみ）の句碑や竹久夢二の歌碑などがあり、最近建てられた上田五千石（畦）の句碑には「渡り鳥みるみるわれの小さくなり」など、句集「田園」よりの名句が刻まれている。

岩松小学校大正十二年卒業生一同の歌碑にある「・・・いつかはさかる花見おもわんの花、桜が一度に満開になるころの風情は、富士山と相まってまた格別である。レストハウスからの富士川の眺望もすばらしい。私の好きな場所、好きな風景である。

こちら編集室

数え上げればきりが無いけれど、最初に離婚を決意したのは、今ごろの季節。風邪を引いていた。原因は、連れ合いが夕飯の支度を拒否したこと。女の怒りは反すうするって言うけれど「あのときもああだった、こうだった」と、怒りはチンチン沸騰点。

そこへいくと、今どきの若者は頼もしい。夕飯の支度は当番制。買い物だって洗濯だってしてくれる。ああ、若さがいとおいしい！連れ合いに若返りの水を飲ませて、もう一度仕込み直してみたい。（富士市女性行動計画策定に刺激された妻）

節分も過ぎて、そろそろ花粉症の人にはつらい季節がやってくる。情報によると、ことしの杉花粉の飛散量は、去年の冷夏の影響でいつもより少ないという。うれしい限りである。またこのころになると、あせ道やわずかに残っている石垣の間か

ら、やわらかな春の日差しを受けて、待っていたとばかりに可憐な花が咲き始める。タンポポ、スミレ、ふきのとうと、これもまた心を和ませてくれる。うれしさも中くらい・・・どころか、待ち遠しい春ももうすぐそこ。ハックション！（サブボスの乙女）

広報ふじは環境にやさしい再生紙を使っています

発行・富士市役所 編集・総務部広報広聴課	富士市永田町1丁目100番地	☎51-0123	人口 世帯数	231,151人 71,669世帯	男 115,321人	女 115,830人 (1月1日現在)
-------------------------	----------------	----------	-----------	----------------------	---------------	---------------------------